

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・お歳暮やクリスマス、年末年始といったイベントが目白押しであり、積極的な品ぞろえ、接客など日々の細かい対応をすれば、この好調を維持できる。
		一般レストラン（経営者）	・年末に向かって予約も増えており期待している。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者） 家電量販店（店長）	・エコポイント効果がある。
		観光型ホテル（営業担当）	・エコポイント次第だが、地上デジタル対応テレビ等の映像関連は好調に伸びる。しかし他のエコ商品は買換えが若干早まるだけで、エコポイント制度終了時に反動が来る。
		その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	・底が見えたとは言え、地方ではまだまだ大不況の余波を感じることもある。新政権への期待も含めたうえだが、好結果となって現れたものは一時的なものにならないよう、更なる企業努力も必要である。
		住宅販売会社（従業員）	・当店エリアの大企業の輸出が好調で、それに連れて残業が多くなり、収入増が見られる。それによって、余暇で使えるお金が増え、我々の店に流れてくる。
		住宅販売会社（従業員）	・物件の動きが全くなかった時期に比べて動きが見られる。来客数にも上向きな傾向が見られる。
変わらない		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・底打ち感はあるようだが、更に悪くなる要素もある。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・エコポイント絡みでしばらくは関連商品の動きはありそうだが、大型店との価格競争、ポイントの交換、還元等で一般家電店は厳しさがある。
		百貨店（営業担当） 百貨店（販売促進担当）	・景気が厳しくなって1年たち、落ち着いてきた感がある。
		百貨店（販売促進担当）	・宝飾、アクセサリ、高級ハンドバッグ等の高額品の売行きは大変悪く、衣料品も単品購入が多いため、客単価が上がらない。百貨店は価格がそもそも高い傾向にあるので、客が路面店や量販店等に流れている傾向が続くと思われ、依然明るい兆しは見えない。
		百貨店（販売促進担当）	・現状を鑑みると、消費者の価格に対する要求は更に強くなる。衣料品については、今後比較的購買単価の高い時期に入っていくが、引き続き厳しい。
		スーパー（経営者） スーパー（総務担当）	・内需の状況は節約志向が変わらない。
		スーパー（総務担当） スーパー（統括）	・衣料品は今まで本当に悪かったが回復の兆しが見えている。その分、今までほぼ好調にきていた食料品が苦戦しており、ほぼ横ばいである。
		スーパー（総務担当） スーパー（統括）	・相変わらず地元企業の業務縮小が続いている。
		スーパー（統括）	・半年前の生産調整や自宅待機等から少し明るい兆しが出てきて、必要な物も買わずに何とか我慢しようというところから、必要な物は買うというように変わってきたが、儉約、節約、合理化はまだ続き、商品単価はこれからまだ下がる。
		コンビニ（経営者）	・年末に向けて需要が増えてくることもある。ただ、競合店のリニューアルオープンがあり、相殺して変わらない。
		衣料品専門店（店長）	・主要なバーゲンセール時期であるが、現在の秋物の立ち上がりを見ると、あまり期待はできない。
		乗用車販売店（販売担当）	・周辺の観光地は、大型ホテルが民事再生で安売りのチェーンホテルに売却され、働いていた従業員やオーナーが辞め、出入りの業者など、全体が安売りになっている。賃金、人件費が上がらない限りは当社の輸入車関係が元に戻って売れるようなことはない。
		乗用車販売店（営業担当）	・単価は低いですが、中古車が少し売れてきた。低年式車下取り助成金枠も早めに打ち切りと予想されるなか、販売台数を伸ばせるか不安が残る。
		乗用車販売店（営業担当） 乗用車販売店（販売担当）	・補助金効果が全くなってきており、来場者数が著しく減少している。
乗用車販売店（販売担当）	・単価の安いものしか売れず、客が安いものに目の色を変えており、赤字覚悟で出しているようなものは売れるが、利益を取ろうとすると全く売れない状態が続いている。余程の景気打開策がない限りは景気は良くなる見えない。		
自動車備品販売店（経営者）	・身の回りの大手工場や中小企業の工場の仕事が少ない。または仕事そのものが海外等に行ってなくなっている。仕事をする場所すらなくなってきているという環境で、住民も不安を抱いており、購買意欲等が低下している。今後も急激に改善される見通しはないので、良くなると思えない。		

	住関連専門店（仕入担当）	・生活防衛意識は変わらず、今後も買上単価の低調傾向は変わらない。特に、大手チェーンの価格訴求等の報道の影響があり、デフレの基調は加速する。
	住関連専門店（開発業務責任者）	・年金問題等の将来への不安があり、消費に結び付かない。
	一般レストラン（経営者）	・異業種の方の意見を聞くと、経済状況はやや悪くなるがそれ以上はあまり変わらないというような意見が多く出ている。
	都市型ホテル（支配人）	・個人客、特にビジネス客の動きが大変悪く、先の予約状況が心配される。やはりビジネスが動いてこない、ビジネスマンの宿泊は浮き上がってこない。
	タクシー運転手	・これから年末年始の繁忙期を控えているが、根本的にタクシー利用者は減っており供給過剰の状態は変わらない。勇気を持って減車に踏み切る会社も無く、見通しは暗い。
	通信会社（経営者）	・変わりそうな要素が見られない。
	通信会社（経営者）	・不況に強いと言われていた家庭用LPガスだが、さすがにここまで景気が冷え込むと、家庭内においても使用を控える見え、前年比で10%くらい毎月減っている。機器も全く売れる気配もなく、このような状況がいつまで続くのか大変不安である。
	通信会社（営業担当）	・商品単価だけでは判断できないとは思いますが、妙に価格破壊の時期であり、逆に不安材料となっている。
	通信会社（営業担当）	・企業では表向き持ち直しているかのように見えるが、冬のボーナス見込みは無いと発表されてるところも多く、現実には厳しい。
	遊園地（職員）	・高速道路料金引下げにより休日の商圏が広がりつつあることはプラス要因として捉えられる。しかしながら、一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響が大きく、しばらくは消費単価の大幅な伸びが期待できない。
	ゴルフ場（従業員）	・来場予約は昨年と同じである。
	ゴルフ場（業務担当）	・今月に比べて11、12月の取り込みは堅調である。特に土日は、高速道路料金引下げによる遠距離客の反応が良い。平日についてはまだそこまでの取り込みが出ていない。
	ゴルフ場（支配人）	・現在前年以上の予約状況ではあるが、単価の伸びは全く無い。低コスト運営を心がけているが、限度がある。
	競輪場（職員）	・G2の大会があったが、目標額を達成することができなかった。この傾向は続く。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・アミューズメント業界は景気の影響を受けにくいですが、全体的に収入減の傾向が続いており、しわ寄せが出てきている。
	その他サービス[清掃] (所長)	・多くの企業等で給料や年末のボーナス等が減額されると思われるため、良くならない。
	その他サービス[立体 駐車場](従業員)	・30分無料の他に回数券の販売を始めたが、これについてはまだ予約等も少なく、直接購入する客も少ない状態が続いている。これから年末に向けて販売量が増えることを期待したいが、今のところなかなか見通しが立っていないので、変わらない。
	設計事務所（経営者）	・受注予定が見えない。
	設計事務所（所長）	・大企業や銀行等の業績が良くなっているとの報道があるが、中小零細企業の経営は苦しく、景気が上向いたと感じるのはまだまだ先のことである。これ以上悪くなることなく、せめて変わらない程度で推移すれば良いのではないかと期待している。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・年末の贈答品需要が企業を中心に取りやめのところが多く、苦戦しそうである。
	一般小売店[青果] (店長)	・新型インフルエンザや大手企業の帰休はかなり景気に響いている。また、人口が増えないところに大型スーパーが出店してきているので、同じ地域同士で客の奪い合いをしており、どの店舗も売上は減少していく。
	百貨店（総務担当）	・当店のエリアでは電機、自動車の産業は少ない一方、土木、建築に携わる客が大変多く、その客が以前より減少している。また周りの農家の景気は良いが、忙しくて昼間買物に来てもらえていない。全体に一步伸び悩んでいる。
	百貨店（営業担当）	・全般においては非常に厳しい状態が続く。これから需要期を迎える10月がこの状況では、11、12月の商戦もなかなか厳しい。下取りセール等、かなりの値打ち商材を用意しない限り、非常に厳しい。
	スーパー（経営企画担当）	・景気の回復の兆しが見えない中で、より一層価格競争が激しくなる。

		コンビニ（経営者）	・タスポ効果が完全に無くなって、来客数が減少している。
		コンビニ（店長）	・10月は各種イベント、例えば十五夜の月見団子等を購入する客層が特に減少し、ひどい月であった。これが年始商戦に大きく影響してくる。
		衣料品専門店（店長）	・衣料品の動きがまだ悪い。
		衣料品専門店（販売担当）	・年末年始を控えての今後2～3か月ということで、ある程度の期待も込めて悪くなるというよりはやや悪くなる程度でと思っている。買物にクレジットカードを使っていないということは、必要なものを現金で買い求めるというような消費行動だけで終わっているということで、そのくらい家計の中にまだ不景気の波が押し寄せている。
		乗用車販売店（管理担当）	・まだまだ景気低迷が続く、世界的な景気回復が遅れている。為替は90円台で安定しているが、年末商戦により、値上がりが始まっている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（従業員）	・デフレが進む。
		高級レストラン（店長）	・先行きが不透明な上、給料やボーナスが下がったままでは、外食の出費が一番抑えられる。今後2～3か月で、悪くなることはあっても良くなることはない。
		一般レストラン（経営者）	・この先、イベント等、客が出掛ける機会が少なく、客が外食を控えてきているのではと同業者同士で話している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これからは忘年会シーズンを迎えようとしているが、周りの景気が低迷の状況で決して良い状況ではない。宿泊に関してもネット関係は特別安い料金を出すと売れるが、元に戻すと全然売れない。安いホテルに向かってしまうというのが現状である。今後、安さがどこまでいくのか、市内のホテルも激化状況にあり、危惧している。
		旅行代理店（支店長）	・年末、正月の出発の出足が非常に鈍い。団体も非常に少なくなるので、現状からすると悪くなる。
		旅行代理店（副支店長）	・一部報道では景気回復が若干上向きと出ているようだが、県下ではまだまだ回復には至らず、業界動向でいえば新型インフルエンザの風評被害的な影響と個人の安近短の旅行が主になりそうな気配である。これから旅行シーズンなのだが、受注状況が非常に良くない。今後年末年始の旅行にも期待薄である。
		テーマパーク（職員）	・各種公共工事の減少や、公共事業の見直しなどにより、一部産業が厳しくなるなど、不安材料が散見されると、各家庭の娯楽費が節約されやすく、テーマパークなどのレジャー産業への影響が懸念される。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・先月から今月、さらに来月と町工場の閉鎖が続いており、近くの町工場では若い人の入社はなく、以前いた外国人労働者も見かけなくなった。
		住宅販売会社（経営者）	・将来への不安がとても感じられ、大きな買物ほど慎重になっている。建設、不動産業にとっては厳しい。
	悪くなる	商店街（代表者）	・物販、サービス、飲食等あらゆる店で低価格商戦に入っており、低価格にできない業界はますます低迷してしまう。強い店は生き残るが、そうでない店は淘汰される。
		コンビニ（経営者）	・現在、90～91円と円高が進み、今後ますます進めば80円台にもなる可能性がある。また、株価も1万をきることになるのではないかと。そうするとますます景気が悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・競合店がたくさんあること、また、目の前に来月早々にもう1店舗増えるため、景気が悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・客は無駄使いをしなくなっている。
		衣料品専門店（経営者）	・このままだと今までと同じで、根本的な経済の立て直しを図らないとなかなか売上は伸びない。
		旅行代理店（従業員）	・景気の低迷、新型インフルエンザの流行等、今後業績が良くなる材料が無い。底が見えない。
		設計事務所（経営者）	・これから年末に向けて建設業界はもっと厳しくなる。
		住宅販売会社（経営者）	・周りのムードは本当に沈滞ムードで物事が動かない状況下になっている。全く意欲がなくなっているわけではないが、様子見である。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・この先3か月の受注については増加基調にあり、昨年との倍になっている。昨年の落ち方がひどいので、今年は2年前に戻ったということからすると差が大きい。また6か月の見通しても上振れ基調という形で上向いている。

	その他製造業 [環境機器] (経営者)	・ 1社で開発、生産、販売、リース、賃貸、メンテナンスまでしている。環境機器、スプレー缶、ガス缶、ライター等の処理装置が普及期に入ってきて、10月以降5月までの商談が忙しくなっている。
やや良くなる	輸送業 (営業担当)	・ 例年年末にかけて物量は大変増えてくる。様々な荷主の輸送量も増えてくるが、繁忙期にあたり、運送会社等、協力会社の体制として、経営の見直しで予備車両や予備人員を抱えなくなっているため、実際車両の確保がどこまでできるか心配な部分もある。
	金融業 (理事)	・ 特に自動車部品の製造業において、月次の受注状況は回復し、それを背景に月次損益がプラスに転じている。また、自動車関連以外の製造業においても、受注の回復が見られる。
変わらない	食料品製造業 (営業統括)	・ 期待された国産ヌーヴォーのブームもここ数年酒販店が大変消極的になってきており、大きな伸びは期待出来ない。
	一般機械器具製造業 (経営者)	・ 今月の受注高は前年比70%となったが、11月は今月並みの予定までは判明しているが、それ以降は全く不透明である。
	一般機械器具製造業 (経理担当)	・ 親企業からの業務は決して増えていないし、むしろ少なくなる可能性の方が強く、実に安定していない。
	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・ 取引先の様子、販売量、受注量の様子も今後2～3か月では変わらず、あと4～5か月たないと良い方向には行かない。
	金融業 (経営企画担当)	・ 飲食業においては土、日のファミリー層の減少に加え、中高年層の減少も目立ってきており、消費低迷が引き続き進行する。
	新聞販売店 [広告] (総務担当)	・ 求人情報等の出稿量は依然として低調である。ボーナスもどのくらい下げるかとの話が先行し、上げるという話は聞かれません。厳しい結果が予想される。
	経営コンサルタント	・ 雇用、家計の見通しが不透明で、設備投資も冷え切っているため、企業の先行きは期待薄である。
	司法書士 その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	・ 上向き気配がないので変わらない。 ・ 取引先の様子から見ても、今後も厳しい状況が続く。
やや悪くなる	食料品製造業 (製造担当)	・ ますます景気は悪くなり、お金の使い方がシビアになる。客にいかにか合う商品を適正価格で販売できるかが、今後の会社運営に大きな影響を及ぼす。安売りでは量が増えるだけで、全体のパイは上げられず、結局会社の経営を悪化させ、直接的に経済の底上げにつながらない。
	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・ 景気が悪いせいか、県外の業者が入札に参加している。そういう面で、先行きが心配である。
	化学工業 (経営者)	・ 雇用調整金をもらってなんとかしのいでいるところが当業界にも何社か出てきており、回復の兆しが無く、先行き不安である。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・ 自動車は盛り返し、設備関係は多少出てきたが、年末年始にかけては今のところほとんど動きがなく、最悪の状態に戻る気がする。設備関係なので大分先行でものは動くが、当店としては12月ごろ2番底が来る気がする。資金繰りもかなり厳しくなってきており、非常に良くない。
悪くなる	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・ 関連の問題が倒産してしまった。これからもこのようなことがある。
	金属製品製造業 (経営者)	・ 得意先より来年3月末まで仕事がないと連絡が来ている。周りは仕事があるところもあれば、無いところもある。
	一般機械器具製造業 (経営者)	・ 現在受注している自動車部品のスポット増産が終了した後の仕事はまったく見えず、年明けの仕事に関して、現状では明るい展望は全く無い。
	電気機械器具製造業 (営業担当)	・ 公共物件が少なくなっている中、民間の設備投資がほとんどない状態が続き、先行きが全く読めない。
	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	・ 昨年も前年比20%減少という状況である。今年の30%減少という売上不振は年末に向けて大きな不安材料である。
	建設業 (総務担当)	・ 9月決算で11月に決算が確定するが、直近3期が赤字決算であり、今期赤字決算だと融資を受けている金融機関の判断が大変厳しくなるので、何とか黒字決算にしなければ大変厳しい。
	広告代理店 (営業担当)	・ 年末商戦への広告宣伝制作予定が、前年比で15%減少している。倒産の噂がある中小企業も増加している。年末は静かな消費動向がうかがえる。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-

変わらない	人材派遣会社（経営者）	・衣料品関係の販売を強化していくという状況が見られるが、製造業の一部にはまだまだ生産調整という状況の中で求人傾向は見られない。サービス業関係の介護や美容関係や飲食店の方が、人を求めているという状況である。単価の問題は依然として厳しい傾向である。
	人材派遣会社（社員）	・ここ1か月ぐらいについては客のつながりもあり、なんとか新しい物件を取ることもできて、売上の的にも前年より持ち直してきている。明るい材料はそれだけで、受注の回復、他の客の開拓などは厳しい。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・良くなる要素は全く無く、企業の景気も先行き不透明で今後もまだ厳しい状況が続く。
	職業安定所（職員）	・一時帰休等の雇用調整が一段落する会社が出てきている。大企業は稼働日数も一部戻りつつあるが、小規模企業まで回っていない。
	民間職業紹介機関（経営者）	・一部の企業で明るい兆しが見えるものの、リストラによる離職者が増える傾向が続いている。自動車関連産業に上昇傾向があり、経済のけん引役として期待したい。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・倒産、事業所閉鎖等による解雇者が、若干ではあるが目立ち始めている。企業側の採用意欲低下から人員過剰への動きが強まる懸念される。
	職業安定所（職員）	・当所管内の自動車関連部品製造関係の産業では、今後自動車の各国の対策が終了することに伴い、やや下向きになる恐れがある。
悪くなる		